

2.5%年金引き下げ阻止のため全力をあげ、 実施された場合は行政不服審査請求でたたかう決議

2.5%年金引き下げは、どこからどう考えても不当です。解散さ
わぎのどさくさの中で審議らしい審議もせず、高齢者のくらしの
実態もほとんど論議されないまま決められました。切り下げの理
由もまったく不当です。10年余も昔に消費者物価指数が下がった
のに年金を下げなかったからなどというのは理由になりません。

消費者物価指数の下落の要因はテレビ・パソコン、冷蔵庫・エ
アコンなどであり、食費が主要な支出になっている高齢者の実態
とはかけはなれています。健康保険料や介護保険料などの大幅な
引き上げは考慮されていません。また、当時、「社会経済情勢にか
んがみ」凍結を決めたのに、いま、高齢者の暮らしが悪化し、物
価がかつてない勢いで上がっているときに、年金を引き下げること
は、弱い者いじめというほかありません。

私たちは、この不当な年金引き下げを阻止するために全力をあ
げます。万一引き下げが実施された場合は、断固としてこれを容
認せず、全組合員が団結して、行政不服審査請求の一大運動を僥
開して、高齢者の思いと年金者組合の力を広く示し、政治情勢を
切り開いていきます。運動のなかで仲間を増やし、仲間を増やす
ことで、大きく運動を発展させてたたかいます。

以上、決議します。

2013年6月20日

